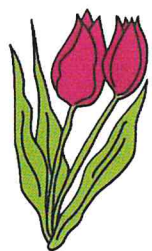


足立区青少年委員会だより



区の花:チューリップ

# あだち

第77号

令和6年9月25日

編集発行

足立区青少年委員会

広報部

足立区教育委員会

青少年課

足立区青少年委員会ホームページ



<http://adachi-seishounen.jp>



## 委嘱式 令和6・7年度の青少年委員が教育委員会より委嘱されました

未来を担う子供たちのために



足立区青少年委員会会長

高橋 将郎

暑さも和らぎ秋を身近に感じられるようになってきました。活動するには最適な季節です。

今期より青少年委員会会長を仰せつかりました。社会情勢もコロナ禍から抜け出し正常化しつつある状況の中で、新体制になり半年が経ちました。コロナ禍を経験し、様々な状況の中で進めていきたい改革や学校・地域との連携役のコーディネーターとして、青少年委員ができる活動を新たに考えながら少しずつですが前に進んでおります。これまで以上に意味のあるものになるよう委員それぞれが意識していかなければならないと考えています。

未来を担う子供たちのために何ができるか、地域の方々との関わりを繋いでいくためにどうするべきか悩みはつきません。私たち青少年委員が積極的に行動することにより、学校・地域の方々から認識していただけたらと思っています。地域の宝である子供たちのために一緒に、明るく元気に青少年委員会活動を進めてまいります。

## ありがとうございました

前会長 多島 三好

平成22年4月から令和6年3月までの14年間青少年委員を務めさせていただきました。在任中は青少年委員会をはじめ、行政、学校、地域、健全育成団体など多くの皆さま方のお力添えを賜り深く感謝申しあげます。ありがとうございました。

委員に委嘱された当初から青少年委員会では研修部一筋でやってきました。子供たちの健やかな育成に協力できるように委員全体の研修企画や、委員相互の親睦を図りながら、地元の方々との意見交換や文化を学ぶための日帰り、宿泊研修会では新潟・長野・福島と色々な思い出がよみがえります。

令和2年から令和4年まで新型コロナウイルス感染症拡大のため事業、行事ができませんでした。対面での会を中止し書面議決に代え、その後も三密を防ぐため換気、手洗い、マスク着用等で会議等を行ってきました。

令和5年5月  
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、足立区青少年委員制度発足70周年事業の準備に着手する



退任の挨拶をされる多島前会長

ことができました。記念事業、記念宿泊研修会、記念誌作成、そして、令和6年2月18日に記念式典・祝賀会を盛大に執り行うことができ、103名の委員の皆さまのおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。

委員の皆さま方のご健勝とご多幸を祈り、青少年委員会が足立区の子供たちの健全育成に益々活躍されまことを祈念し、退任にあたってのお礼の言葉といたします。

## 青少年委員会退任者紹介

令和6年3月31日付

- 第1ブロック 豊住 いずみ
- 第1ブロック 若色 昭夫
- 第1ブロック 宮崎 保子
- 第1ブロック 田辺 智紀
- 第2ブロック 伊木 恒人
- 第3ブロック 木島 俊江
- 第5ブロック 多島 三好
- 第6ブロック 大串 朋嘉
- 第6ブロック 佐宗 良哉
- 第7ブロック 寺島 恵美子
- 第9ブロック 中里 史朗
- 第9ブロック 上田 美根
- 第10ブロック 武田 伸一
- 第10ブロック 芦川 雅良
- 第10ブロック 吉田 雅子
- 第11ブロック 佐藤 正浩
- 第12ブロック 横山 良和
- 第12ブロック 高橋 進
- 第12ブロック 詠訪 安昭
- 第12ブロック 諏訪 法和
- 第13ブロック 板越 由希子

(敬称略)

長年にわたり、青少年健全育成活動にご活躍いただきありがとうございました

## 新任研修会

第1ブロック 松沼 孝典

今年度の新任研修会のテーマは『青少年委員の役割』についてでした。冒頭、教育委員会学校運営部の絵野沢部長から青少年課の組織改正の目的及び詳細の説明と、青少年委員の役割についてお話をいただきました。その後、小学校(5つ)・中学校(4つ)のグループに分かれグループディスカッションを行いました。

その中で青少年委員の役割について諸先輩方から多くのアドバイスを受けて、地域によつて青少年委員の活動も異なることを学びました。子供たちが安心・安全に、より良い学校生活を過ごせるように学校と地域を繋ぐ方法を自分なりに模索して精一杯努めていきたいと思えます。



絵野沢部長の講話

第7ブロック 伊藤 美恵

足立区役所に於て、7月11日新任研修会が開催されました。絵野沢秀雄学校運営部長より「青少年委員の役割」についてお話がありました。

「青少年委員に求められる役割」はとても良く理解ができ、青少年委員の立場を再確認しました。



グループディスカッション

私の子供が卒業し、しばらく学校と直接関わることはありませんでしたが、このたび青少年委員に任命されました。グループディスカッションで先輩委員の体験談やアドバイスを聞き、その中で「コミュニケーションが重要です」と教えていただいたことで、最初は不安だらけだった気持ちがやる気になりました。青少年委員1年目はあらゆる行事に参加し「顔」を覚えてもらい、コミュニケーションをとり、信頼していただき、色々な事が話しあえる関係に繋がるようにしたいと思っております。家庭・学校・地域を結び子供たちの健全育成は、青少年委員の役割としてその「重要性」を教えてもらいました。肩に力を入れず、少しずつ私ができる活動を精一杯頑張りたいと思います。

# ブロック教育懇談会

## 「地域と学校の連携」

部活動における新たな指導体制

### 第8ブロック 鈴木 奏子

7月18日、勤労福祉会館にて、公益財団法人音楽文化創造より講師をお招きし、同法人が令和5年度文化庁文化部活動改革を受けて行った、部活動の地域移行に向けた委託実証事業参加団体のケースについてお話しいただきました。部活動の地域連携、地域移行を検討する際は、地域の受け皿構築が重要であり、教育委員会と学校、地域の連携、指導者の量、質の確保は行政で行う、講師謝金を受益者負担とする場合、金額を抑えるために広く参加者を募り人数確保する、等のアドバイスがありました。

その後、参加中学校より部活動の現状について報告をいただきました。いずれも小規模校で、生徒や顧問の数により部活動が困難な状況にあり



委託実証事業参加団体のケーススタディ

ますが、既に部活指導員を導入している学校、部活動の地域移行の研究會に参加している学校、地域から連携のオファーを受けている学校、それぞれ問題解決に向けて取り組んでおり、今後も地域との連携を深めていくという意識を共有して閉会となりました。

子どもたちの悩みについて

## 不登校について考える

### 第11ブロック 森岡 裕子

7月11日、第十四中学校にて、各校の校長、副校長、PTA会長をお招きして教育懇談会を開催いたしました。

不登校という難しい内容について話を進めるにあたり、事前に各校の校長先生にアンケートのご協力をいただきました。また、独自に収集した保護者の声をまとめ、各校よりお話をいただきました。

不登校は学校と地域全体で対応する内容であると話をした上で、資料



意見交換の様子

を基に酒井委員よりプレゼンテーションを行いました。

小学校では、不登校の割合は低く圧倒的に中学に偏っていました。しかし、小学校時代の経験が中学で不登校につながることも多いため、小中の連携が重要であるという意見もいただきました。

学校やクラスに居場所がないと感じると不登校にもつながるため、クラスの成熟度を上げて、皆が意見を言える明るいクラスにすることが良いとされます。また、学校以外の居場所として、地区対、地少協、町会のイベントなどの発信を学校と連携し、子供たちのレジリエンス向上に役立てて欲しいとお願いをしました。これを機に小学校、中学校、地域の情報共有により不登校を作らない地域にしたいです。



プレゼンテーションの様子

## 不登校未然防止策事業

### 「スマイル・ステップ・ルーム(SSR)」

副会長 山田 直美

6月21日、青少年委員会正副会は「不登校未然防止策事業SSR」開設校を訪問しました。

SSRでは、運営方法を見直すことで利用者を増やすことに成功し不登校が減少したり、完全不登校の生徒が登校できたケースもあつたとのことです。

生徒たちは、SSRでリモート授業を受けたり、読書したり生徒同士話したりして過ごしていました。

「集団の中に入ることはしんどいようです。決して怠けているわけではないのです。不登校への理解が大事ですね」先生方は少しずつ社会適応できるよう支援を続けることを目指していました。

SSRは生徒だけではなく保護者、教員にとつても重要な取り組みです。SSRでの楽しい体験は、今後の長い将来に必ずプラスになると感じました。

※スマイル・ステップ・ルーム(SSR)は、令和6年度より、区内の中学校4か所に開設されています。

## 研修部の活動

研修部長 古川 美奈子

コロナ禍により、各事業が縮小されていましたが、昨年度より、学校・地域等も以前の活動に戻りつつあるかと思えます。研修部では「新任研修会」を7月11日に開催いたしました。青少年課の組織改正ということで、絵野沢学校運営部長の講話、そして諸先輩委員とのグループディスカッションと、内容の濃い研修になったかと思えます。これからの活動のヒントになったのではないのでしょうか。

今後の活動は、日帰り研修会として、11月17日に多くの子供たちが利用する区の施設「鋸南自然の家」の視察、また2月には全体研修会を予定しております。

『チーム研修部』として、一丸となり取り組んでまいります。



嶋田キャプテンAチーム



関本キャプテンBチーム



第四中にてビーチボールバレー大会を開催しました

優勝 小学校PTA連合会B  
準優勝 スポーツ推進委員会A  
第3位 小学校長会A  
第4位 青少年委員会B

## 事業部の活動

事業部長 渡邊 淳子

事業部では、『年中行事・記念日を大切にしましょう』という足立区青少年委員会の取り組みのもと、年4回（端午の節句・七夕・お月見・お雛様）区役所アトリウムにて飾り付けを、それに伴いポスター作成、区立こども園、小・中学校への配布、毎年6月に開催される『青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会』の運営、10月に開催される『あだち区民まつり』では、ミニSL・1円玉アート・ウォーターコインを出店しております。

事業部一同一丸となって、楽しく、充実した活動にしていきたいと思います。



1,400枚もの短冊に願いを込めて

## 熱戦!! ビーチボールバレー大会

広報部 生井 由美

6月2日、青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会の予定でしたが、雨天の影響によりビーチボールバレー大会が開催されました。

中村教育長の始球式で盛大にスタート。各団体とも選手と応援が一体となり白熱の戦いが繰り広げられました。青少年委員会チームは、嶋田キャプテンAチームが2回戦で敗退。関本キャプテンBチームは惜しくも4位という結果となりました。

今大会を通して、仲間同士そして他団体との親交を深めることができたことが何よりの収穫です。大会への参加・熱い声援ありがとうございました。

## 編集後記

広報部長 大原 恵子

昨年度、足立区青少年委員制度発足70周年の節目を迎えました。そしてこの4月より新任の委員を加え、新たな気持ちで委員会活動を行っています。

青少年委員会だより「あだち」は活動を紙媒体（ホームページにも公開中）でお届けしています。紙媒体の良さは、受けとつたらその場ですぐに手に取って見ることが出来ることにあると思います。その反面、反映に時間がかかったり、訂正や修正がきかないという難点もあります。だからこそ時間をかけて校正してつくりあげた「あだち」には達成感があります。ぎりぎりのスケジュールを提示したにもかかわらず、快く原稿をお寄せくださった皆さま、広報部員の皆さま、関係者の皆さま、ありがとうございます。

今年度は学校訪問をトピックスとして加えた紙面構成をしていけたらと思っています。

次の記事が楽しみとなるような紙面づくりをめざして取り組んでまいりますのでご協力よろしく願います。